

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券主催

## 丸の内投資セミナー 質疑応答

開催日：2025年12月6日（土）

登壇：執行幹部 CFO 補佐 會田 靖

Q：資源は持たず、自動車ビジネスがあるなど、商社の中でも特徴的と思われるが  
一番の強みは何か。

A：一番の強みはアフリカ。アフリカには54カ国あり、当社はそのすべてにネットワークを有している。自動車は、販売だけでなくアフターサービスやメンテナンスもカバーすることで、車1台当たりの収益を増やしている。さらに、このネットワークを活かして医薬品の卸売・小売等のビジネスも拡げている。アフリカの人口は2050年には25億人まで増加すると見込まれ、この人口増と経済成長を超える成長を遂げていきたい。

Q：リチウムについて。自動車のEV化はスローダウンするとも言われているが  
どう考えるか。

A：当社はトヨタグループの一員として、EVバッテリーの原料であるリチウムの供給を担うべく、パートナー企業とともにアルゼンチンでリチウム事業に投資している。足元ではリチウム市況は軟調、かつ米国の政策等によるスローダウンの基調もあるが、自動車の電動化は不可逆的であり、その波が止まることはないと考えている。今は、市況が低くとも利益確保できるよう固定費低減に取り組みながら、必要な供給に向けて備えている状況。長期的には、市況が回復すれば大きなリターンを得られると考えている。

Q：アフリカビジネスは有望ながら、政情など不安がある。安心材料はあるか。

A：アフリカでの事業は日本からではなく、フランスにあるCFAO社がコントロールしている。ここからアフリカ各国に財務管理者を配置しており、有事には資金管理の状況等を具にCFAOで把握できる体制を取っている。また、54カ国すべてにネットワークがあることで、一つの国で何か起きてても他の国でカバーできる事業ポートフォリオを組むことができ、結果としてアフリカ全体の成長を取り込める。世界銀行による、今後10年間のアフリカの経済成長見通しは5%程だが、これを上回る成長が実現できると考えている。

以上